

会 議 録

会 議 の 名 称	第 3 回 和光市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和 4 年 5 月 19 日（木）14 時 00 分～
開 催 場 所	和光市役所 6 階 602 会議室
出 席 者	【事務局】 福島環境課長、広瀬統括主査、安藤主任 【1 号委員】 一ノ瀬 大輔（立教大学 経済学部 経済政策学科 准教授） 野平 佳紀（埼玉県西部環境管理事務所 担当部長） 芳野 雅廣（埼玉県地球温暖化対策西部地域協議会 連絡会 副会長） 【2 号委員】 志村 浩明（朝霞地区四市廃棄物処理協会 会長） 森 凡枝（和光市美化推進委員） 【3 号委員】 小林 貴博（市民公募）
欠 席 者	【2 号委員】 富澤 勝（和光市自治会連合会 事務局長） 西山 博敏（和光市商工会） 萩原 三枝子（和光市くらしの会） 【3 号委員】 東海林 朝子（市民公募）

会 議 内 容	(1) アンケート調査の結果報告 (2) 意見交換会の結果報告 (3) 将来ごみ量(単純推計)結果について (4) 第6次計画の基本理念・基本方針について (5) その他	
会 議 資 料	資料1 アンケート調査の結果報告 資料2 意見交換会の結果報告 資料3 将来ごみ量(単純推計)について 資料4 第6次計画の基本理念・基本方針について	
会 議 録 の 作 成 の 方 針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☒ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法: 会長決裁	
そ の 他 の 必 要 事 項	傍聴人 1名	
審 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)		
【開会】 (事務局挨拶: 福島課長) 【本議会の運営について】 (事務局説明: 福島) ・ 条例第6条で、委員の過半数以上が出席できなければ会議を開くことができないが、本日西山委員、富澤委員、萩原委員、東海林委員を除く6名の委員が出席しており、会議は成立している。 【傍聴希望者の入室】 ・ 1名 【議題(1)】 議題(1) アンケート調査の結果報告 ・ (資料訂正のため次回へ繰り越し)		

【議題（２）】

議題（２）意見交換会の結果報告

（事務局説明：広瀬）

（小林委員）

ヒアリング対象者は店長かまたは廃棄物・リサイクル担当者か。

（事務局）

廃棄物・リサイクル担当者として店長や副店長が対応された。

（志村委員）

コンビニエンスストアへのヒアリング予定はあるか。

（事務局）

現在のところ検討していない。

（志村委員）

コンビニでは、本部の要望に応じて店舗にて食品ロス対応をしているが、対応は店舗によってばらつきがあるため、食品ロスの廃棄物が減らないことに廃棄物回収業者として課題を感じている。また、ゴミ箱が店舗外にある場合はゴミ混入等が多い。できれば市内コンビニの店長または担当者にもヒアリングされたい。

（事務局）

事業系ごみの減量目標が厳しいことも踏まえ、重要な点と認識している。施策検討において審議会内で議論いただきたい。

（小林委員）

立地や通過交通量によってばらつきがあると思われる。車の中のごみを立ち寄ったコンビニでまとめて捨てている場合もある。コンビニのヒアリングを行う場合は、立地条件も確認すべき。

（事務局）

ご指摘のとおり。市外のごみが市内に入ってくる場合もある。ゴミ箱の設置環境等についても検討したい。

（森委員）

行政収集ではペットボトルキャップを分けることになっている。キャップを集めると福祉に活用される事例もあると聞くが、現在はどうか。

（副会長）

和光市内では社会福祉協議会が集めている。

【議題（３）】 将来ごみ量（単純推計）結果について

（事務局説明：安藤主任、委託業者）

意見なし

【議題（４）】 第６次計画の基本理念・基本方針について

（事務局説明：安藤主任）

（野平委員）

基本理念のうち、広域化に向けた目標とあるが、広域化として目標を建てるのか
和光市単独の目標なのか他市と合わせた目標なのか。

（事務局）

既出の「ごみ処理広域化基本構想」に基づき広域処理施設を整備していくため、
この目標値を達成する必要がある。

（野平委員）

広域の枠組みに沿って、和光市としての目標を立てるという趣旨でよいのか。

（事務局）

その通りです。和光市、朝霞市それぞれで目標を立てている。

（会長）

あまり内容を把握していない市民から広域化が全ての目標として掲げているよう
な表現に見えるため、わかりやすいものに見直した方が良いと思う。

（小林委員）

図１はSDGsの枠の中に施策の吹き出しがあり、それが繋がっているが、何を表現
しているか。

（委託業者）

ごみ処理の施策立案にあたり偏りや不成立がないよう、SDGsを物差しとして関連
性を示している図になる。

（小林委員）

計画を具体的に考えていく中で、基本的な考え方になるということか。

（事務局）

ご認識の通り。

（会長）

外部に出るのか。

（事務局）

審議会用の資料である。

（小林委員）

SDGs自体が広範囲であり、成果の評価に当てはまるのか疑問である。争点がわか
りにくくなるように思う。

（会長）

SDGsを全面に出し過ぎているのではないかと。SDGsの図を使う際は、ごみ施策によ
ってこれだけSDGsの項目が網羅できるという説明を入れるよう注意してほしい。

(小林委員)

可燃ごみに混在する減量・資源化可燃物に焦点をあてるとは、ごみとして出されたものを対象とするのか、製造業者等の生産過程を対象とするものどちらか。

(事務局)

ごみとして出されるものを対象に考えている。

(小林委員)

小売店などで使用される包装紙の削減等に協力を求めるということか。

(事務局)

事業者にてできる限りの協力を求めて良いと考えている。

【議題（５）】 その他

(事務局)

次回、会場の都合で 14 時開始になる場合がある。事前にご連絡させていただく。

意見なし

【閉会】